

貸 借 対 照 表

平成29年 1月31日 現在

セーフティ&セキュリティ 株式会社

(単位： 千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】	123,171	【流動負債】	48,284
現金及び預金	72,686	買掛金	5,858
売掛金	24,745	未払金	15,775
商品	22,072	未払費用	6,044
貯蔵品	130	未払法人税等	176
前渡金	247	未払消費税等	12,260
前払費用	1,936	前受金	108
未収入金	558	預り金	861
未収法人税等	914	賞与引当金	7,200
貸倒引当金	△119	【固定負債】	59,986
【固定資産】	41,001	長期借入金	46,812
【有形固定資産】	3,213	長期未払金	3,174
車両運搬具	2,884	社債	10,000
工具器具備品	328	負債の部合計	108,271
【無形固定資産】	31,821	純 資 産 の 部	
のれん	30,370	【株主資本】	55,902
ソフトウェア	1,451	資本金	9,000
【投資その他の資産】	5,967	資本剰余金	1,000
出資金	10	資本準備金	1,000
敷金	3,315	利益剰余金	45,902
差入保証金	2,212	利益準備金	700
長期前払費用	314	その他利益剰余金	45,202
預託金	115	繰越利益剰余金	45,202
		(うち当期純利益金額)	8,224
		純資産の部合計	55,902
資産の部合計	164,173	負債及び純資産合計	164,173

注 記 表

セーフティ&セキュリティ 株式会社

この計算書類は、「中小企業の会計に関する基本要領」によって作成しています。

重要な会計方針に係る事項に関する注記

棚卸資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産については、最終仕入原価法による原価法（貸借対照表価額については、収益性の低下に基づいて簿価を切り下げる方法）によっております。

固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産

車両運搬具、工具器具備品については定率法を採用しています。

(2) 無形固定資産

ソフトウェアについては、社内における利用可能期間（5年）に基づく定額法によっております。

のれん償却については、その投資効果の発現する期間（5年）に基づく定額法によっております。

引当金の計上基準

(1) 貸倒引当金

債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権について法人税法の規定による法定繰入率により計上しております。

(2) 賞与引当金

従業員に対して支給する賞与の支出に充てるため、支給見込み額に基づき計上しております。

収益及び費用の計上基準

収益については実現主義により、費用については発生主義により計上しております。

その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

消費税の会計処理

消費税等の会計処理は、税抜方式によっています。

会計方針の変更に関する注記

消費税等の会計処理は、従来税込処理によっていましたが、当事業年度より税抜処理に変更しております。